

2023年7月31日

各位

三井住友信託銀行株式会社

国立大学法人九州大学エネルギー研究教育機構との連携協定締結について

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「当社」)は、国立大学法人九州大学(総長:石橋 達朗、以下「九州大学」)が設置する国立大学法人九州大学エネルギー研究教育機構(機構長:石橋 達朗(以下「同機構」))との間で、エネルギー・脱炭素分野における研究の社会実装化に向けて、互いに協力することを目的に連携協定(以下「本協定」)を締結しましたのでお知らせいたします。

1. 本件の背景・目的

当社は、「社会的価値創出と経済的価値創出の両立」を経営の根幹に据え、社会課題解決型の新たな金融仲介機能を発揮することで、地域経済の中軸を担う自治体、大学、企業などの産官学の各ステークホルダーを有機的に繋ぎ、地域のエコシステムを構築していくことを目指しています。

九州大学は、エネルギー分野の優れた研究実績を生かし、グローバルに深刻化するエネルギー・環境問題の解決と持続可能な社会の実現に寄与するために、2016年に同機構を設立しました。同機構は、教育推進部門、研究推進部門、社会デザイン部門で編成されております。特に研究推進部門には、多様なエネルギー関連分野から200人を超える研究者が結集し、異分野融合研究を推進する中での総合知によるイノベーションの創出と、実社会における課題解決に取り組んでいます。

同機構および当社は、本協定を通じて、それぞれが有する機能およびネットワークを相互に活用し、産官学連携による九州大学の有する研究シーズの社会実装化を推進することで、社会課題の解決や地域社会への貢献を目指していきます。

2. 本協定の概要

同機構および当社は、主に以下の事項について相互に情報連携および協力を行っていきます。

- エネルギー・脱炭素分野に資する研究に関する事項
- ファイナンス等金融機能に関する事項
- 社会実装化を実現させるためのビジネスマッチングに関する事項
- 研究に対する科学的根拠に基づいた知見に関する事項
- その他本協定の目的遂行上必要な事項

以上